

J H F 理事会議事録

日 時： 2009年1月21日(水) 12:30~16:00

場 所： J H F 事務局会議室 (豊島区巣鴨 3-39-4 東都ビル 2F)

1. 議長・議事録作成及び署名人指名

議長： 菊池守男 議事録署名人： 内田孝也 大沢 豊

2. 定足数確認

出席者：出席【理事】荒井健雄 内田孝也 大沢 豊 菊池守男

下村孝一 城 涼一 松田保子

【監事】市川 孝 對馬和也

(出席理事7名。今理事会は定足数を満たし成立した)

理事会の前にイカロス出版・小貝さんより第4回(3月28、29日予定)木島平リアルパラワールドのイベントに関して説明と協賛お願いがあった。

3. 理事・監事のひとこと

内田会長： 明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。12月から今迄でJHF行事はありませんでした。先週金曜日に東京都連として、航空協会のスポーツ航空教室を江戸川区鹿骨東小学校で行い、熱気球とパラグライダーと模型飛行機を今回は6年生全員ということで90名対象に行いました。

城常任理事： 今年もよろしくお祈りいたします。

菊池副会長： 年末年始は関東地方が天候に恵まれ、たまたまコンディションも落ち着いていたので私も10日間飛行しました。今年は3千時間を目標に飛び始めようかと思っています。下村さんに予算案を作っていただきました。皆さんもなるべく予算に関心を持ち検討しましょう。

下村常任理事： 予算は事務局で作業をしたのですが、会員減少は何となく止まる傾向にあるのかなと印象を受けました。下げ止まりという様なことが若干色濃く出て来ているのは嬉しいと思います。

松田常任理事： 前回理事会以降、連盟の活動がほとんどできませんでしたので、特に申し上げることはありません。

大沢理事： 年末年始に大きな事故の報告がなく良かったと思っています。

市川監事： 12月末に埼玉県で教員助教員の更新講習会をやりました。実質上は半日でやったのですが、1日でやるにはあのカリキュラムは相当難しいだろうと感じました。教員の方から、新規でパラグライダーを始める人達は団塊の世代のおじさんか、20代の女性が多いと言っていました。私も実際に現場にいるとそう感じています。

對馬監事： 最近出席出来なかったのですが、保険の話がありますので、出来るだけ事故関係の分析、今後払うものの検討を十分にして、この問題に対して会費をどうするのか早く議論をして全国の会員に情報を発信していただきたいと思います。

4. 審議事項

第4-1号議案 第17回ハンググライディング世界選手権日本代表チームの承認について

議長（菊池副会長）： 第17回HG世界選手権日本代表チームの承認について、HG競技委員会の板垣委員長から出ています。フランス大会に選手4名とチームリーダーを承認願いたいということです。

大沢理事： 補欠選手2名までご承認をお願いします。エントリーが少ない場合は、5人目、6人目が出る可能性があるということで入れています。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、内田、大沢、下村、城、松田

第4-2号議案 2009年度ハングシリーズルール改正について

大沢理事： 去年まで使っていたコンペGPSを、FSという世界共通のGPS判定ソフトを使うことにしました。今回承認をいただければ3月の大会から使うようになります。GAPのパラメーターですが、ノミナルディスタンスを現在1時間30キロ20%ゴールとなっているのを35キロに変えたいという申請です。

議長（菊池副会長）： ただ今、荒井理事が到着しましたので、4-2号議案から審議に加わってください。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、内田、大沢、下村、城、松田

荒井理事： 4-1議案も確認しましたので賛成します。追加をお願いします。

大沢理事： 追加ですが、パラも同じFSに変えるということで書類上は出ていないのですが、変えます。大会が3月なのでそれまでには何とか出してもらいたいと伝えてあります。

内田会長： 3月に使用開始するまでに岡さんから資料を貰うということですね。そうであれば書類が出た時点で文書理事会でよいと思いますので、決めておきましょう。

議長： では今の件で、パラも共通ソフトを使うので追って書類が出た時点で、文書理事会にかけるということで宜しいでしょうか。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、内田、大沢、下村、城、松田

第4-3号議案 フライヤー会費値上げについて

議長（菊池副会長）： フライヤー会費の値上げについて、前回の理事会で終了間際に下村さんから会費の値上げ額の提示がされ、話し合いの過程が途中でした。今回城さんから正式な審議をする様にとということであがっています。

城常任理事： 再審議となりますが、判断するにも判断材料が少なかったのではないかと、もう少し具体的な数字を眺めながら考えてみたいと思います。効果はどの位であるか見極めた上で値上げをしないと頻繁にする訳にはいかないのと、慎重にやっていきたいと思います。まず値上げの要否から議論をお願いしたいと思います。

内田会長： 前回の理事会でよく説明出来ず上期実績を見て、値上げ分の吸収を 2008 年度分は出来るし、2009 年度分もあると言ったのですが、それは何を根拠で言っているかご説明出来ていなかったと思います。2009 年予算を作り決算見通しから来年どの位最低限費用が掛かるか見通しを見てみました。人件費が相当下がる為に、予算額と上期実績の対比から本来 2008 年度の予算金額に対してかなり事務局経費は下がる見通しを持ったので、保険金額の値上げが吸収出来るはずだと思います。2008 年 1 月から添石事務局長が退任されたことに対して、補充人事をせずに現存の事務局員だけでやって来た結果がこの金額になっています。今の事務局体制を後 1 年続ける前提で、2009 年の予算規模が保険料 1.5 倍になって 600 万程支出が増えても JHF 全体の支出の中ではこういう規模で 1 年間いけるだろう。

下村常任理事： 2008 年は収入を理屈上出た数字から 5%引きましようということで引いた数字がほぼ実績に近いのです。今年の理屈上で作った数字の 2-3%とか 4-5%を内輪に見るということをした方がいいですね。2 つ目は収入に対して人件費が 20%です。これは普通の会社的に考えても人件費の割合はまあまあです。収入見通しの 20%位を人件費の総額で見るとは今後も続けたい。3 つ目は、2008 年は予備費を 140 万取ってあるが今回はゼロ。繰越金が 120 万減り支出がそれだけゆるくなったことは頭に入れながら支出の項目を検討しないとイケない。今が値上げの機会かどうかの判断の中で予算の支出を考えた時に 3 つ考えられる。1 つは会費の値上げというのは理事として言い難い問題です。6 月に改選期があるから、新理事に言わせるのではなく、我々が会費値上げの必要性を訴えておくことの方が時期的にある。2 番目に会費の値上げの理由として、収入 4,500 万で人件費を入れた場合の事務局管理費は 1,600 万掛かっている。それから保険料が 2,000 万、そうすると 900 万だけが実際の事業の活動費です。これはとりあえず去年に帳尻が合っているのですが、何も活動をしていない。活動ゼロでバランスが合うからよいかという議論です。将来の希望がありません。3 つ目は会費値上げの大義名分がある時に値上げをする。

内田会長： 12,000 人の愛好者の内 1,000 人減った場合は、会費の収入源は 350 万減ります。4,500 万円の収入合計の内 350 万円の収入減。その内保険金が 1 人 1,560 円払われる予算になりますので、1,000 人減った場合は見通しの予算金額より 150 万減るといことですので、次期繰越金とか予備費とかで 200 万規模を理事会で使わずに置いておくのが健全なのかなと思っています。私の個人的な意見ですが、先程会費を上げるべきだとのことなのですが、去年の 6 月総会で 5 年後、数年間に保険料が 1 割ずつ上がって 1.5 倍になってしまうので非常に厳しいと言った時、正会員からは会員管理、技能証発行、それ以上のことは必要最低限のことだけをやって、そこまで身を削っても赤字になるのならその時は値上げしてもいいという意見もありました。2009 年の内に値上げするという話が前回出ましたが、今度の 6 月の通常総会で会費を値上げするべきですと言ったとして、6 月の総会から一般に告知した時間を取った後 2010 年の 1 月からか 4 月からの値上げをするべきであるというのが私の意見です。

下村常任理事： 1,000 人減少した時に 350 万減ということですが、それ以外の技能証発行なども連動しているので -40%で 500 万位の減になります。値上げをするということを決めた今度の理事会で方向性をきちんと出しておけば 2010 年からの値上げであっても構わないと思います。

城常任理事： 方向として時期は別としても値上げが必要という主旨で私はとらえているのですが、もう一つ時期も出ていますが、2009 年度でなくてもいいのではないかと。内容については提

案者としては材料がないのであればここで審議する必要性はないと思っています。

松田常任理事： 私の意見は、値上げはやむ無しとっております。

大沢理事： 私も今の状況を考えると同じ意見です。

城常任理事： 値上げをするかしないか必要性の限定になっていますが、事業規模が現在のままだったらということですよ。それでいいのかということもあります。総会での正会員の方の意見もありますし、会員登録、技能証発行に絡り込むという話もあったので、そういうことを議論する必要性もあると思います。

議長（菊池副会長）： 現状の中で判断していくしかないと思います。想定をたくさん出しても、際限無く想定が出て来ますから、審議として値上げをする要否を審議しておくしかないですよ。では、時期と内容は別ですが、値上げの必要性があると思う方は挙手をお願いします。

採決の結果、【賛成5 反対1 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、内田、大沢、下村、松田

反対： 城

議長（菊池副会長）： 次に値上げの時期についてです。

松田常任理事： 前提として6月総会に掛ける必要があります。私の意見では、予算的にどうだということ以前に周知徹底をする為には2010年度4月1日という時期を案にしたいと思います。

議長（菊池副会長）： では4月1日という案が出ていますので、それで総会に提案をします。賛成の方は挙手をお願いします。

採決の結果、【賛成5 反対1 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、内田、大沢、下村、松田

反対： 城

城常任理事： 私は、時期はもっと余裕を持った方がいいと思います。

下村常任理事： 私は先程の意見の中で、事業の拡大ということがあり、例えば広報や、日本選手権に事業費をもっと増やしたいとか、デモスポも国体もやりたいとか、木島平に出したいとか、統括団体なのでから会員登録だけではなく事業費の規模を元に戻す、拡大したいということも値上げの一つの大きな理由になっているので忘れないで欲しいという希望です。

議長（菊池副会長）： では値上げの内容についてですが。

下村常任理事： 今回はモーターパラとハングだけを値上げして、パラは据え置き。理由はモーターパラとハングの事故率が高いというのは周知の通りです。ハングとモーターパラが7,000円、パラは据え置きで3,500円が私の意見です。

内田会長： 差を付ける話の前に、東京海上日動火災に質問をした時に出た答えですが、これは従来スポーツ賠償責任保険、今度は個人賠償責任保険です。不注意、もしくは法的に責任を負うべき様な内容で他人に迷惑をかけて、それを補填しないといけない場合、そのことについて保険を払いますという保険なのです。その時に保険の対象はJHFの会員ですねということで、スカイスポーツをしていて、その中で他人に与える迷惑の率ほどの位かという目で見ているということでした。自分が怪我をするかどうかでなく、どの機材を使っているから他人に迷惑をかける比

率が大きい、小さいということでもないということです。

下村常任理事： 同じ質問を東海にしました。であればハングはハング、モーターパラはモーターパラ、パラはパラだけで保険をやればいい。東海はそれを断ると思います。それはパラだけでいいけど、ハングはハングだけだと料率が高くなるから勘弁してくれ、会費の徴収で差を付けるのはいいけど一緒にしてくれということです。そういう議論が色々対立するのであれば、ハングはハングだけ、モーターパラはモーターパラ、パラはパラだけで保険を成立させれば良い。会長が東京海上と交渉してください。

對馬監事： 私もそんなにハングが事故を与えているのか疑問なので、本当に差があるのか過去のデータを分析した方がいいですよ。

議長（菊池副会長）： 不思議に思うのは、パラグライダーのソフトの翼で賠償金額がすごく出ているのですよ。高压線に引っ掛かったのは分かりますが、パラグライダーで建物や車にぶつかって体が当たれば出ますけど、日常ではそんなにないと思いますがいかがですか。

下村常任理事： 事故はランディングとテイクオフで90%です。空中は1割。だからランディングとテイクオフが事故の全てと思う。日本の空でハングとパラでは何対何ですか。場所によっては違いますが、パラが1回飛ぶ、パラが何機飛べばハングが何機か。

内田会長： 分析はした方がいいと思います。

第4-4号議案 PG アジア選手権の開催について

議長(菊池副会長)： 審議4-4について私と城さんからの提案なのですが、パラグライダーアジア選手権はJHFの重要な事業なのでもちろん継続が目的です。予算を確保した上、これから予算を消費する上で現状報告が分からないと不安に思いますので、現状の報告をお願いします。

内田会長： 最初に、ご報告していなかったことに関してお詫びします。

大沢理事： 実行委員長が西ヶ谷さんに代わりましたが、順調にプレの5月大会は準備が進んでいます。報告が出ていますので添付します。

議長： 今後は継続して常時報告は理事会にあげていただくということでお願いします。大きな金額が動きますので、情報不足でお金が使途不明になった時には理事会は責任を持たないといけません。

城常任理事： アジア選手権に関しての連盟としての支出は150万円で決まっています。プレであろうとアジア選手権に関わる支出は150万と決まっていますから。そこからはみ出すことは出来ません。

議長： この件は会長を中心に大沢さんから、今後はもう少し報告をあげて欲しいということによろしいですね。

松田常任理事： 資料には現時点で開催か否かを審議するということですが、提案者のお二人が色々なことを心配して今の内に話し合っておいた方がよいのではと考えたのですよね。それに対してこれは何か説明を付けておいた方がよろしいのではないですか。

城常任理事： 今の状況では開催は準備続行ということを確認。進捗状況について逐次の調査をしてもらうことを理事会に報告してもらうということです。

第4－5号議案 2009年度通常総会日程の決定

議長（菊池副会長）： 希望日程としては6月17日（水）ですね。これに賛成の方は挙手をお願いします。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で決定された。

賛成： 荒井、内田、大沢、下村、城、松田

5. 協議事項

5－1 航空関係者表彰の候補者推薦について

松田常任理事： 去年私がガイドラインを作ったらどうかという発言をしましたが、その時々で長くなくても差上げたい方もいると思います。該当する方がいないか正会員に一度メール配信をさせていただきます。

5－2 2009年度予算について

松田常任理事： 予算案の案を作ってくれたということですが、会員情報システム（JDC）はこのままでは立ち行かないと私は事務局に来る度に見ていると感じています。ここに予算を入れないといけないと思います。

内田会長： システム関係は他も含めて引き続き善処します。それから事業費の普及事業費で予算がいくらあるのですが、冒頭にプレゼンテーションがあった木島平について出費をするかどうか。

議長（菊池副会長）： 払った方がいいと思います。

内田会長： 一昨年は5万円でした。去年は選手を呼びたいからたくさんくださいということで、20万を出しました。今年は半分でもいいかなと思っています。

議長（菊池副会長）： では審議で金額を決めたいと思います。5万円という案と、去年と同額で20万円、半減の10万円で採決したいと思います。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で10万円の協賛金を決定した。

賛成： 荒井、内田、大沢、下村、城、松田

大沢理事： その下のまだ予算の段階なのですが日本選手権が3月と5月に行われます。ハング50万、パラ70万と書いてありますが、これを執行してもよろしいでしょうか。

内田会長： 2009年は170万円がいいのかということで、見通しを作る時にハングとパラも10万ずつ減額をし、アキュラシーはこれ以上減らすと大会にならなさそうだったので30万残すというので150万円になっています。2009年予算はまだ審議していませんが、審議の時の前提としてこの金額を入れて予算組をします。

6. 報告事項

6-1～4 については別紙のとおり報告した。

- 6-1 東京海上日動・賠償責任保険契約
- 6-2 「2009 鳥人間コンテスト選手権大会」休止
- 6-3 予算収支：進捗管理表
- 6-4 現金・預金・郵便振替等残高明細
- 6-5 フライヤー会員登録実績

この議事録が事実と相違ないことを確認し署名捺印する。

議長

(菊池 守男)

署名人

(内田 孝也)

署名人

(大沢 豊)

議事録作成人：桜井加代子